

狭山市に来て、 住んでももらいたい

三浦和也 議員
(未来フォーラム)

◆知名度向上のための戦略

最近の近隣市における全国的な知名度向上をどのように見ているのか。また、狭山市としては知名度を向上させていくために、今後どのような戦略を考えているのか。

市長 市の名前を高めるためにメディアを活用することが必要。新宿駅西口の県のアンテナショップも活用したい。

◆観光拠点の創出に向けて

にぎやかなまちになるためには、観光拠点の創出が欠かせない。狭山市に隣接して所在している日高市の畜産食肉販売所は、特に休日になると観光客がたくさんやって来る。その集客力を活用していくべき

だと思いが、どのように考えているか。また、近くにある智光山公園一帯の施設との連携は。

市民部長 市の魅力をPRする機会と考え、販売所で市内観光施設や特産品の紹介など情



報発信をしていく。

建設部長 販売所に公園のパンフレットを置き、利用促進を図っている。今後は施設と連携した事業などで、公園の魅力をもPRし、集客につなげていく。

◆市の人口減少対策について

市の人口減少状況を打開するため、どのような対策を講じているのか。

総合政策部長 狭山市駅を中心に道路を整備し、利便性に富んだ魅力とにぎわいのあるまちにし、人口定着を図り、雇用確保のための企業誘致に取り組む。

◆市外若年層への魅力発信を

市外に住む子育て世代など若年層に対して、魅力的な住環境を持つ狭山市に住居を構えて生活してほしいが、狭山市に住居を構える魅力について、どのように伝えているのか。

総合政策部長 ホームページやモバイルサイトなどのメディアの活用で、市の魅力や地域情報などを発信する。

◆駅周辺の土地利用について

まちの機能は中心部、主要駅周辺に集積することが、持続可能なまちづくりのために重要である。住宅造成の余地が残っている、市内主要駅からおよそ1km圏内については、市街化区域化を進めるべきだと思いが。

◆まちづくり推進部長

安全で安心して暮らせ、快適に活動できる元気ある都市の実現に向け、それぞれの土地にふさわしい将来的な土地利用を検討し、県の計画との調整を図りながら位置づけを行いたい。

一 質 問

民生委員・児童委員の活動について

手島秀美 議員
(未来フォーラム)

◆民生委員・児童委員は地域に密着した行政相談員の役割を果たしている。以下の三点について伺いたい。

①委員が実態調査した一人暮らし高齢者世帯や障害者世帯の高齢者世帯の情報、災害時の援護活動には無くてはならないものである。調査した情報はどのように管理、活用されるのか。②委員の定数は243名と定められている。現在13名の欠員が生じているが、その対応についてどのように考えているのか。③委員の活動は大変重要なものであるが、その活動を理解している市民は少ないと思う。もともと市民に活動を周知していくべき。

◆保健担当部長

①調査結果は高齢者支援課で保管し、委員も活動の際に情報の一部としている。情報は介護、福祉の相談支援や見守り活動、消防署の防火診断などに活用している。災害時の情報活用は、対象者の同意を得ること前提に情報提供を検討していきたい。

福祉部長 ②委員の候補者は自治会からの推薦であるが、就労や家事、介護などの事情で推薦には自治会も苦慮している。欠員の地区は、他の委員が活動を

分担している。引き続き自治会、社会福祉協議会支部、民生委員・児童委員協議会に働きかけ、欠員の解消に努めていく。③これまでも広報やまで活動を紹介したが、来年は3年に1度の一斉改選の年で、広報紙やホームページ、ケーブルテレビを活用し、より一層の周知に取り組んでいく。

◆市民参加による太陽光発電の拡大

市民の環境意識が高まる中、地球温暖化対策をさらに進めていくためには、太陽光発電は有効と考える。限られた人しか利用しにくい現在の設置補助制度から、誰もが参加できる仕組みが必要である。市役所、保育所、幼稚園などの公共施設の屋根を使い、ソーラーパネルの設置費用を市民に負担していただき、そこで削減された電気代相当分を市民に還元する取り組みを。

市長 市民出資による太陽光発電の設置は、有効な手段として考えられるが、設置の初期費用と採算期間との費用対効果と節電や売電によるエネルギー消費効果などの検証、市民からの費用負担の還元方法など解決すべき課題も多く、今後先進市の事例などを調査し導入の可能性を研究していく。



太陽光ソーラーパネル

狭山市のブランド力の向上

伊藤 彰 議員

(未来フォーラム)

◆地域のブランド力とは、全国の人々から見た狭山市の魅力です。一つ一つの魅力の要素の総和として表れます。

例えば、お茶を使ったスイーツの開発や七夕まつりの企画の充実・向上など。地元の農産物、工芸品、イベントや公園などについて、専門家を交え消費者・来訪者の目線で質を高める取り組みです。地域ブランド造りに、市長としても全力で取り組んでいただきたい。

市長 狭山茶や工業集積を通じてブランドの維持が図られてきたと考えるが今後は新たなまちの魅力の創造を通じて、狭山市のブランド力の向上を図る必要性を感じる。資源を有効に生かし、魅力作りに取り組み、市民と協働して元気の狭山の実現に向けて取り組んでいくことで、これらを通じて狭山市のブランド力の向上を図っていく。

◆総合型地域スポーツクラブは、市民の力で運営される多項目、多世代を対象とした総合的なスポーツクラブで、国も県も、国民のスポーツ活動を向上するため、積極的に推進しています。市民の中からその設立へ向けた動きがありますが、教育長には積極的に推進

をお願いします。

教育長 地域で活動しているスポーツ団体の方が、総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、動き出していることは承知している。クラブの認知度は、まだ低いが、今後はその理念や必要性について地域住民やスポーツ団体などに普及、啓発活動を推進し、体育指導委員やスポーツ団体も設立の際の担い手となれるよう、支援体制の醸成を図っていく。

◆現在の都市公園条例には動物捕獲禁止事項があり、昆虫までも捕獲が禁止されています。近年の都市環境で子ども達に思い切り自然体験をさせるためには、むしろ昆虫を捕獲禁止から除外し、ボランティア指導員を募り、市の公園の魅力として昆虫採集体験事業を行うてはどうかでしょうか。

建設部長 昆虫採集の許可制は、許可を受けて昆虫を採取しているところを見た他の市民に昆虫採集ができると誤解を与えることもあり、狭山稲荷山公園との整合性も含め、県などと協議し他市の状況も参考に検討していく。



夏休みの思い出

一般質問

公契約条例の制定／平和事業の拡充

大沢 えみ子 議員

(日本共産党)

◆公契約条例の制定について

- ①公契約条例制定の目的は、公共事業の現場で働く労働者の賃金や雇用条件を条例で保証し、下請け業者の単価切り下げを防止していくことにあります。
- ②現場労働者に設計労務単価を保障することが必要と思いますが市の考えは。
- ③建設労働者退職金共済制度(建退共)について、現場での証紙の張り付け徹底を指導していく必要があるのでは。
- ④指定管理者制度に関しても、人件費の最低基準について規定を設けることや雇用の継続についての基準を設けるべきと考えますが、いかがでしょうか。
- ⑤臨時保育士について、職員と同じ時間に勤務し、同じ仕事をしているのに、賃金に格差が生じています。せめて一時金などの待遇改善を図るべきと思いますが、市の考えは。

市長 ①今後も、国や県の動向を注視し、条例の実現に向け研究していく。

総務部長 ②請負者が労働者に適切な賃金を支払うよう、引き続き指導していく。③担当課への依頼や、今までの契約時の建設業退職金共済制度共済証

紙等購入の指導などを引き続き行う。
総合政策部長 ④指定管理業務に従事する職員は、事業者が確保するもので、人件費に一定の基準を設ける予定はない。また、事業者から雇用継続の考え方を聴き、協定締結の協議時にも雇用継続や勤務条件の維持を要請しているが、協定書に明記する予定はない。

福祉部長

⑤フルタイムで勤務する臨時職員は、臨時職員取扱要綱に基づき雇用しており、一時金はない。

◆平和事業の拡充について

核兵器廃絶への大きな歴史的転換が図られようとしている今日において、より積極的に平和事業への取り組みを行っていただきたいと思えます。特に、毎年市内の中学生の平和記念式典への参加は、ぜひ全校で実施していただきたいと思えますがいかがでしょうか。

市長 平和都市宣言を契機に、広島市平和記念式典への参列や講演会の開催などに取り組んできました。中学生の平和記念式典への派遣人数は、毎年4名ずつのローテーションで参加していることから、今の形を継続していきたい。



記念式典に捧げられた折鶴